

石狩川(下流)水系外流域治水協議会(幾春別川外地域部会)

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることにに関する令和6年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 市民と農業者の双方を対象とした田んぼダムや都市部での流域治水連携に向けたPR活動の実施(岩見沢市)
- 河川の浚渫を実施(三笠市)

教育活動

- 小学校では5年生、中学校では全生徒を対象に防災教室(避難所運営ゲーム(Doはぐ)及び段ボールベッド組立体験)を実施(新篠津村)
- 1日防災学校開催に当たっての支援(美唄市、3回、384人)
- 小中学校、刑務所等での防災講話や防災備蓄品の展示・提供を実施(月形町)
- 小中学校等での出前講座(防災チャレンジ)の実施(岩見沢市、6回、630人)

訓練活動

- 市内在住の防災関係有資格者(防災士、防災マスター)を対象とした、会議・研修の実施(岩見沢市)
- 防災無線を用いて対象地域に避難指示を発令した避難訓練を実施(新篠津村)
- 防災関係機関等の協力のもと体験型の各種訓練を実施(岩見沢市)

水防活動の支援

- 消防団員募集PR活動を兼ねた防災展示イベントの実施(三笠市)

流域治水の広報

- 大型スーパーの展示スペースを貸し切り防災に関する展示を実施(三笠市)
- 防災ガイドブックを転入者に配布(美唄市)

リスク情報等の提供

- 月形町タイムラインについて前回の読み合わせ事項を反映して内容を逐次修正(月形町)
- 自主防災組織4団体が参加するワークショップを開催(2回)し、コミュニティタイムライン策定(美唄市)

多様な手段による情報発信

- 防災情報伝達システムとして、登録制メールや登録制電話配信サービスを導入(美唄市)
- 地デジ広報を利用したテレビでの情報発信(美唄市)

計画策定

- 立地適正化計画の作成中、作成後公表(三笠市)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		転入者へ防災ガイドブックを配布（美唄市）		防災展示の実施（三笠市）
	◎連携活動 地域 個人		田んぼダムや都市部での流域治水連携に向けたPR活動（岩見沢市）		河川の浚渫を実施（三笠市）
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体		読み合わせを反映させてタイムラインを逐次修正（月形町）		
	◎教育活動 地域 個人		小中学校における防災教室（新篠津村）		
	◎多様な手段による情報発信 地域 個人		1日防災学校の実施（美唄市）		
	◎多様な手段による情報発信 地域 個人		小中学校、刑務所等での防災講話、防災備蓄品の展示・提供（月形町）		
③行動を誘発する	◎訓練活動 地域 個人		小中学校における防災講座（防災チャレンジ）（岩見沢市）		
	◎訓練活動 地域 個人		市内在住の防災関係有資格者対象の会議・研修の実施（岩見沢市）		
	◎訓練活動 地域 個人		防災無線を用いた避難訓練（新篠津村）		
	◎訓練活動 地域 個人		住民参加型の避難訓練（岩見沢市）		
	◎計画策定 地域 個人 企業・団体		立地適正化計画の作成・公表（三笠市）		
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体					消防団員募集PR活動を兼ねた防災展示イベントの実施（三笠市）